

# 令和4年度 学校評価シート（自己評価）

川 口 幼 稚 園

## 1. 園の教育目標

川口幼稚園の建学の理念は、「真に健全で調和的人格の樹立をめざし、きめ細かな教育計画のもと、個性尊重と自主性の促進につとめ、幼児に最も大切な「しつけ」を重視し、豊かな情操と逞しい創造力を培い、いかなる困難にもくじけぬ実践力と健全な身体をもって自学自律出来る人格の育成を旨として創立された」のである。  
この理念達成のために、次の教育目標を掲げている。

- (1) 調和的人格の育成
- (2) 健全な心身の育成
- (3) 保育の資質向上
- (4) 個性尊重と自主性の促進

## 2. 具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果	結果の理由
(1) 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	A	学年全体で日々子どもの状況を報告し合い実態把握を心掛けた。その上でその年の学年に応じたカリキュラムを考え子ども一人ひとりが成長できるよう指導計画を作成した。今後も喜んで取り組めるような活動にしていく。
(2) 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	B	職員一人ひとりが子どもの性格や個性を理解し言葉掛けや援助を工夫した。又、全体で見守る体制をとり、いろいろな意見を取り入れながら指導した。しかし、職員によってちょっとした差があったため、全員で更に話し合う時間を増やし共通認識を持って指導すべきだった。
(3) 学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	B	学期末にまとめとして参観及び説明があり、その場で子どもたちの成長や課題を伝えたり、保護者との連携をとったりするよう努めた。しかし、子どもの個人差によってはより密に連携し更なる成長へと導けるようにするべきであった。
(4) あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	A	子どもが主体であることを念頭に置き、異学年や預かり保育でより多くの友達との交流が持てるよう配慮した。又、遊具を増やしたり、安全を第一に考えた環境構成をしたりと今後も工夫していく。
(5) 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う	B	健全に成長するための基本的な生活習慣が身に付くような声掛けを行った。又、感染症対策として手洗い、うがいを徹底し、咳エチケットも意識的に行っている。しかし、全員に浸透されていない部分もあるので自ら行えるような言葉掛けが必要である。

## 4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	コロナ禍で行動が限られた中で子どもにとってかけがえのない行事は方法を今までと変更し、改善をしながら実施することができた。今後も職員で話し合いを重ね状況に合うよう工夫していきたい。

### ○結果について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

## 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育内容の改善	コロナ5類移行にともなってコロナ禍で実施を見送っていた行事の再検討する。
ホームページの活用	日頃の活動内容や園の情報を見やすく提供していく。
避 難 訓 練	様々な状況を想定し、職員で話し合いながら、どんな状況下であっても避難そして誘導ができるよう一人一人の動きをシュミレーションする。